

協力隊 が行く!

今月の担当は おうはし 大橋 隊員 です!



▲枕崎会議の様子

皆さん、こんにちは! 枕崎に移住してほぼ1年になりました、関係人口・移住担当の大橋です!
枕崎に来てようやく全ての季節を過ごしたのだと思うと長かったような、短かったような、1年後はどんなことを思うのか、どんな景色を見ているのか、日々ワクワクしながら過ごしたいと思います!

去る6月30日、所属、立場、役割を超えて枕崎の未来を考える「枕崎会議」を実施しました! 今回は「なぜ枕崎会議を開催したのか?」をはじめ、会議の様子なども共有したいと思います。

■**枕崎会議の概要**
私が着任した令和4年8月以降、市役所への情報共有と対話のため、協力隊の関連部門と市長・副市長に参加いただく報告会を3カ月に1回、自主的に行ってきました。ミッションも活動場所も違う本市協力隊の3人ですが、この報告会を通して活動の理解や今後何をしていくのかの共有、市役所側に協力してほしいことなどの対話の場となり、一定の成果があったと思います。

■**今後の方針**
今後の方針としては「回遊型全世代関係人口」施策を行っていきたくと考えています。これは私の造語ですが、未就学児・高校生・大学生・社会人とそれぞれの世代に対して関係人口施策を実施し、世代が上がれば施策も上がる、というものです。例えば大学生向けには今夏インターンシップを実施するのですが、その大学生が数年後社会人になったら今度はワーケーションや地域での新規事業開発で枕崎に関わってもらおう、というイメージです。言うなればバラバラの施策ではなく、世代ごとの回遊させる、そうすることでより強い関係人口になってもらう、という考え方です。既に各世代の関係人口施策が動きはじめてますので、ぜひご期待ください。

■**活動成果**
私の活動成果としては、移住者2名(大橋が関わった範囲)、名刺交換人数600名でした。移住してくれた2名は大学卒業した新卒世代でそれぞれ福岡、東京から移住してくれました。名刺交換600名は毎月50名以上と名刺交換していた計算になるので、そんなに多かったかな、と自分でも驚きました。関係人口創出・移住促進には待ちではなく自分からどんなアクションしていく攻めの姿勢が大事だと思っていたので、その成果だと思つて自分でもちよっと誇らしいです。笑



燃ゆる感動が ごしま国体 熱い鼓動 風は南から

2023

枕崎から参加する国体選手を紹介します!!



▲令和4年度全国高等学校総合体育大会

Q 柔道を始めたきっかけは?

天 父が指導していた枕崎柔道スポーツ少年団で小学1年生から始めました。最初は体力をつけること、礼儀を身につけることを目的に始めました。

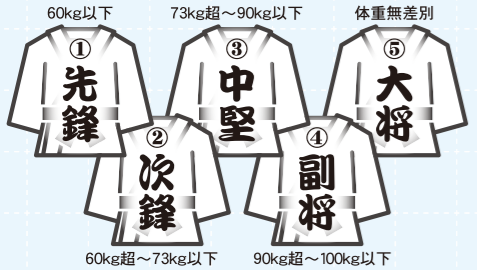
Q 柔道の魅力はどんなところですか?

天 自分の技で相手を投げるところがおもしろいです。また、礼儀を重んじる競技であることも魅力のひとつです。

Q 普段の大会と国体ではどんな違いがありますか?

天 国体は、各都道府県の各

かごしま国体柔道競技(少年男子)チーム編成



柔道競技は、成年男子(一般・大学生・高校生)・少年男子(高校生)の3種別があります。1チーム5人で体重別による団体戦で行われます。試合は1対1で行い、5人対戦してその勝敗差で全体の勝ち負けを決めます。今回のかごしま国体では、10月14日から16日の3日間、西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)で開催されます。

■問合せ スポーツ・文化振興課(総合体育館内)
TEL76-6151

スポーツ・文化 イベント情報

南浜館
開 9:00 ~ 17:00
※入館は16:30まで
休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日
問 スポーツ・文化振興課
TEL72-9998

特別企画展「果ての鉄道展」を開催

南浜館では指宿枕崎線全線開業60周年、枕崎駅舎完成10周年を迎える今年、鉄道に関する特別企画展として「果ての鉄道展」を開催します。
“鉄道が走る南薩の魅力”に触れてもらいながら、鉄道の世界、過去、現在、未来のエリアに分割し、過去の貴重な写真や映像で紹介。また、会期中には特別ゲストを招いての「ギャラリートーク」や、南浜館パフォーマンス広場において親子で楽しめる鉄道に関するイベントも実施します。

- 会期 8月11日(金・祝)~10月31日(火)
※会期中無休
- 開場式 8月11日(金・祝)午前10時~
- 初日記念イベント 久野知美氏(女子鉄フリーアナウンサー)ギャラリートーク
- 観覧料 一般800円、大学・高校生600円、中学生以下無料、団体割引・障がい者割引等有り
- 令和5年度鹿児島県地域振興推進事業・アートミュージアム拠点「南浜館」推進事業



※この絵は検討中のイメージであり、実際とは一部異なります。

市長 コラム vol.52



本市には関東、東海、近畿に、それぞれ「ふるさと枕崎会」があります。「関東枕崎会」「東海枕崎会」「近畿枕崎会」として、それぞれ会長さんを中心に会員の皆さんで活動をされています。毎年、総会を開催し、会員の皆さんが一堂に会して、懐かしいふるさとの話を咲かせます。都会の真ん中で、そこだけが枕崎になる、そんな楽しい会に私も毎年ご案内いただき、会員の皆さんとお会いするのを楽しみにしていました。

その「ふるさと枕崎会」も新型コロナウイルス感染症の影響を受けて活動の自粛を余儀なくされ、総会を開催できない期間が続いていました。

そしてようやく、そのふるさと枕崎会が昨年11月開催の「近畿枕崎会」を皮切りに復活してきました。今年の7月には「東海枕崎会」が開催されました。10月には「関東枕崎会」が計画されています。久しぶりの「ふるさと枕崎会」は、それはそれは盛り上がりです。懐かしい皆さんとの再会が2年ぶり、3年ぶりとともに懐かしさが増して、会場では皆さんの笑顔が弾けまします。私も10月の関東枕崎会への参加をとても楽しみにしています。

各ふるさと枕崎会には、実は悩みもあります。新入会員が少なく、会員の高齢化が進んでいることです。しかしながら、先の東海枕崎会には20代の若者も参加してくれて頼もしい印象を受けました。

会場に行けば、もうそこは枕崎。都会で頑張っているご家族がいらしたら、ふるさと枕崎会を紹介してみてください。よろしくお願いたします。